

平成27年(2015年)の主な気象災害(1)

期日・期間	現象名	気象概況	被害状況
1月1日～2日	大雪	冬型の気圧配置が強まり、北部を中心に大雪となった。	大雪により15時8分頃からJR因備線の智頭駅(鳥取県) - 美作加茂駅間で運転を見合わせ、10本の列車に運休が発生した。また、県北部の高速道路では、米子道の落合ジャンクション(真庭市) - 米子インター(鳥取県)間、中国自動車道の津山インター - 新見インター間、岡山自動車道の有漢インター(高梁市) - 北房ジャンクション(真庭市)間が2日にかけて通行止めとなった。一般道では路面凍結によるスリップ事故が1日と2日合わせて33件発生し、4人が軽傷を負った。(2015年2月4日現在 山陽新聞、岡山県警、JR西日本岡山支社調べ)
3月17日	濃霧	高気圧に覆われ、南部を中心に局地的な放射霧が発生した。	17日朝、JR山陽本線の糸崎駅(広島県) - 三石駅間で局地的な濃霧のため、運休8本、遅延190本が発生した。また、海上でも四国フェリーが始発から運航を見合わせ、宇野港発着の10便が欠航した他、瀬戸中央自動車道の水島インター - 坂出インター(香川県)間では8時45分から上下線とも通行止めとなった。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。(2015年4月8日現在 NHK、岡山県警、JR西日本岡山支社、四国フェリー調べ)
4月3日～6日	その他(雨)	4月3日から6日にかけて、西日本に停滞する前線により断続的に雨となり、この期間の降水量は津山で53ミリとなった。	6日21時30分頃、美咲町で国道沿いの土砂が崩れ道路を覆った土砂に車が乗り上げたが、けが人はなかった。
5月12日	強風害	12日朝は日本海の低気圧に向かって南よりの風が吹き込み、夕方には低気圧からのびる寒冷前線が中国地方を通過したため、局地的に強風が吹いた。	強風により、交通機関では12日12時頃、JR因美線(知和 - 美作河井間)の線路上に倒木が見つかり、遅延4本が発生した。この他15時50分頃、美作市では高圧線が断線し約280戸が停電となった。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
6月20日～21日	強雨	上空寒気の影響で大気の状態が不安定となり、局地的な強雨となった。	短時間強雨により、JR姫新線(月田駅 - 岩山駅間)、JR芸備線(備中神代駅 - 野馳駅間)で降雨による規制のため運転を見合わせ、のべ運休4本、遅延14本が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
6月26日	大雨	前線を伴った低気圧が発達しながら日本海を東北東に進み、夕方頃には寒冷前線が中国地方を通過したため局地的な強雨となった。	大雨により、JR姫新線(院庄駅 - 美作追分駅間)、JR因美線(那岐駅 - 高野駅間)で降雨による規制(連続雨量)のため運転を見合わせ、のべ運休4本、遅延20本が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
7月16日～17日	大雨 強風 波浪 高潮	7月16日夜から17日にかけて、台風第11号は四国の南海上を北上し16日23時頃室戸岬市に上陸した。上陸後も北上を続け17日6時過ぎに倉敷市付近に再上陸し、中国地方を北上して17日午後には日本海に進んだ。風は16日夜から強まり、雨は17日未明から県の南東部を中心に激しい雨の降った所があり、総雨量は100ミリを超えた。また、台風の接近とともに潮位が高くなり、東部の沿岸部を中心に高潮による浸水が発生した。	強風により、備前市と玉野市の3名が軽症を負い、住家では一部破損が19棟あり、12市町で約22,600戸で停電が発生した。交通機関ではJR岡山支社管轄の10路線で16日19時43分以降運転を見合わせ、のべ951本の列車が運休となった他、岡山空港では16日～17日に岡山発着の東京・札幌・沖縄・ソウルの計12便が欠航した。海上交通では17日午前を中心に新岡山港・宇野港・笠岡港を発着する定期船が欠航した。高速道路では瀬戸中央自動車道の児島インター - 坂出インター(香川県)間で16日18時から17日11時まで上下線とも通行止めとなった。また、大雨や高潮により住家の床上浸水が1棟、床下浸水が11棟あった。倉敷市児島田の口では斜面崩壊による土砂災害が発生し、家屋損壊1棟、非住家の全壊2棟、半壊1棟があった。県道では玉野市と瀬戸内市の2ヶ所で路肩崩壊により、全面通行止めとなった。高速道路では規制値を超える雨量が観測されたため、山陽自動車道の山陽インター - 備前インター間で17日8時47分から19時20分頃まで上下線とも通行止めとなった。岡山県の被害まとめによると、農畜水産物関係の被害額は17,215万円であった。なお、災害発生日は運転規制発生時刻による。
7月28日	強雨	上空の寒気と暖かく湿った空気により大気の状態が不安定となったため、南部を中心に雷を伴った強雨となった。	強雨により、JR山陽本線(庭瀬駅 - 金光駅間)で降雨による規制のため運転を見合わせ、運休22本、遅延18本が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
8月7日	雷 強雨	上空の寒気と強い日射の影響で大気の状態が不安定となり、局地的に雷雲が発生した。	7日18時35分頃、JR山陽本線の庭瀬駅 - 中庄駅間で落雷により障害物検知装置が故障したため運転を見合わせ、運休6本、遅延25本が発生した他、総社市では高圧配電線や変圧器に落雷があり、約3,000戸で停電となった。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
8月17日	その他(風) 強雨	17日昼過ぎ、前線を伴った低気圧が中国地方を通過したため、局地的に雷を伴った強風が吹いた。また、雷雲の通過に伴い局地的な強雨もあった。	17日13時10分頃、岡山市北区御津河内にて突風が発生し、住宅の屋根瓦が20枚程度落ち、ぶどう温室の屋根ガラスが約50枚破損した他、倒木のためJR津山線(金川駅 - 建部駅間)では一時運転を見合わせた。また、JR山陽本線、姫新線、芸備線、因美線で降雨による規制のため運転を見合わせ、JR津山線と併せて運休35本、遅延50本が発生した。県道高梁御津線でも1時間雨量が規制値を超えたため、一時通行止めとなった。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
8月25日	強風 波浪 高潮 雷	台風第15号は8月24日から25日にかけて東シナ海を北上し、25日06時過ぎに熊本県荒尾市付近に強い勢力で上陸した。その後、福岡県を通過し山口県の西海上を北上して、岡山県には25日夕方最も接近した。26日06時には日本海で温帯低気圧となった。風は25日明け方から強まり、昼過ぎから夕方にかけてさらに強くなり、26日未明まで強く吹いた。	強風により、25日は窓ガラスが割れたり転倒したりして7人が負傷した他、備前市、新見市の空き家で一部破損する被害があり、6市2町で約2,600戸の停電があった(雷が原因の停電含む)。交通機関では瀬戸大橋を渡る全列車が始発から約8時間にわたって運転を見合わせた他、JR岡山支社管轄の2路線(伯備線、姫新線)で風による運転規制や倒木により運転を見合わせ、22本の列車に遅延が発生した。岡山空港では岡山発着の東京便計10便が欠航し、海上交通では県内と四国や瀬戸内海の島々を結ぶ定期船が欠航した。高速道路では瀬戸中央自動車道の児島インター - 坂出インター(香川県)間で約3時間半、全面通行止めとなった。岡山市南区の沿岸部では、高潮により市道や農道が冠水した。岡山県の被害まとめによると、農産物等の被害額は90万円であった。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
9月1日	強雨	1日、山陰沖の低気圧に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となり、昼過ぎ、局地的に激しい雨が降った。	短時間強雨によりJR姫新線の院庄駅 - 美作追分駅間で降雨による規制のため運転を見合わせ、運休2本、遅延2本が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
11月14日	強雨	14日、日本海の低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となり、昼過ぎから夕方にかけて局地的な強雨となった。	短時間強雨によりJR姫新線の院庄駅 - 美作大崎駅間およびJR因美線の東津山駅 - 高野駅間で降雨による規制のため運転を見合わせ、合わせて遅延14本が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。

平成27年(2015年)の主な気象災害(2)

期日・期間	現象名	気象概況	被害状況
11月16日	濃霧	高気圧に覆われ、局地的に放射霧が発生した。	16日午前7時42分頃、JR山陽本線の三石駅 - 瀬戸駅間で局地的に濃霧が発生し一時運転を見合わせた。この影響で8本の列車に遅延が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
12月10日～11日	強雨	10日夜から11日にかけて、低気圧が九州、四国、近畿地方を発達しながら通過したため、11日未明から明け方を中心に岡山県では局地的に激しい雨が降った。	11日6時10分頃、美咲町西井和で国道沿いの土砂が崩れて道路を覆っているのを通行人が発見した。けが人はなく、現場付近は全面通行止めとなっていたが、その後解除されている。
12月21日～22日	濃霧	気圧の谷の通過により21日昼過ぎまで県内全般に雨が降った後、高気圧に覆われ晴れて、夜間には湿った空気が冷やされて南部を中心に広い範囲で濃霧が発生した。	21日22時18分頃、JR宇野線の茶屋町駅 - 備前西市駅間で、22日6時20分頃にはJR山陽本線の東岡山駅付近で濃霧が発生し一時運転を見合わせ、合わせて4本の列車に遅延が発生した。また、新岡山港と土庄港(小豆島)を結ぶフェリー1便(22日8時半の新岡山港発)が欠航した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。
12月24日	濃霧	23日、四国の南を通過した低気圧の影響で、岡山県では23日昼頃から夜にかけて雨が降った後、24日朝にかけて高気圧に覆われて晴れたため、湿った空気が冷やされて局地的に濃霧が発生した。	24日8時56分頃、JR山陽本線の吉永駅 - 熊山駅間で局地的に濃霧が発生し一時運転を見合わせた。この影響で5本の列車に遅延が発生した。なお、災害発生日はJRの運転規制発生時刻による。